

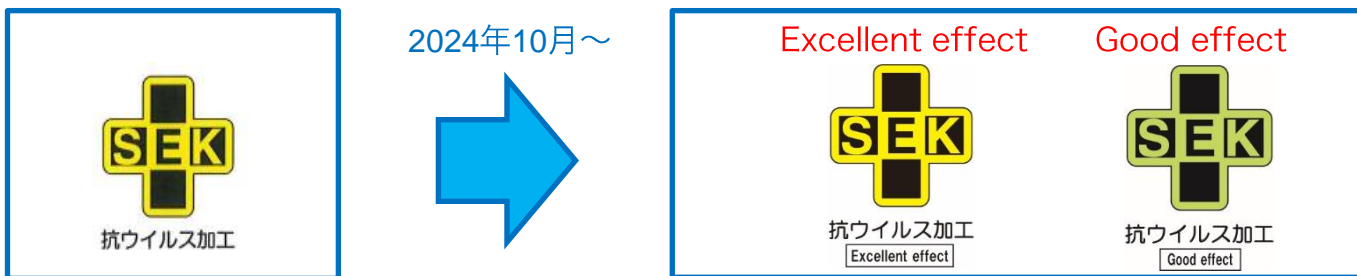
SEK抗ウイルス加工マークがリニューアルされました！

2024年10月1日に一般社団法人繊維評価技術協議会のSEKマーク繊維製品認証基準が改訂され、抗ウイルス加工マークが新しくなりました。
更なる普及を目的とした今回のリニューアル内容についてご案内いたします。

改訂のポイント【新たな抗ウイルス加工マーク】

抗ウイルス活性値2.0以上の製品も申請できます！！

抗ウイルス加工マークが、2種類の製品区分に分かれます。
従来の抗ウイルス加工マークはExcellent effectに引き継がれ、新たにGood effectが新設されました。

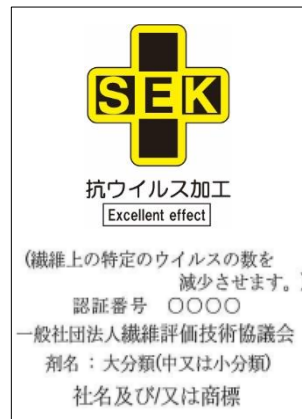


試験方法	JIS L 1922（プラーク測定法）
評価基準	Excellent effectでの申請：抗ウイルス活性値3.0以上 Good effectでの申請：抗ウイルス活性値2.0以上

主な改訂点【マーク使用の注意点】

- ・付記用語と注意表示に記載するウイルス数の減少について、
Excellent effectは99.9%減少、Good effectは99%減少となります。
- ・同一の加工でも各基準を満たせば、それぞれの申請が可能です（別認証番号）。
なお、同一製品に両方のマークを同時に表示することはできません。
- ・改訂前の基準で登録済みの製品は、Excellent effectに変わります。

マーク表示 3.0用



主な改訂点【JIS L 1922改正の反映】

JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」が2024年3月に一部改正されたため、認証基準における試験成立条件などの項目が改訂されております。

JIS L 1922の改正内容はボーケントピックNo387で紹介しております



[No387 抗ウイルス性試験JIS L 1922が改正され、新型コロナウイルスも試験対象に追加されました！ - 一般財団法人ボーケン品質評価機構 \(boken.or.jp\)](#)



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。